

#40 ふんわり

2021.12
Winter Issue

[宮城版]

Walking in a
Winter
Wonderland

Think globally, Act locally!!
いつもの生活に木のぬくもりを。

くりこま高原自然学校

くりこま高原自然学校

森林認証紙とライセンスを
使用して作りました。



イグルー作りワークショップ

12/29(土) 30日
冬こそ栗駒山! 想像力と創造力を掻き立てる、真冬のくりこま高原自然学校ならではの楽しみ。あなたもイグルーを作れる人になってみませんか? ワクワドキドキな雪との関わり方をお伝えします。



くりこま高原自然学校 ログハウス・コテージ 宿泊受付中!

自然学校の代表が自作した本格ログハウスを宿泊にご利用いただけます。素泊まり、食事付き、グループで貸し切り、ワーケーションなど、多様なニーズにお応えします。冬山スキー・スノーシューの拠点にもおすすめです。スノーハイク等の道具類のレンタルも承ります。

住まい手訪問・施工現場見学

随時個別案内
弊社で施工したOB様のお宅をご見学いただけます。実際住んでみての感想など生の声を聞くことができます。また、現在施工中の現場も見学可能です。個別にご案内いたしますので、日程ご相談ください。

たねるべホリデーワークショップ

12/18(土) 10:00-15:00
クリスマスやお正月を彩る手作りワークショップ。申込が必要なものもあります。詳しくは「手のひらサークル たねるべ」のfacebookページをご覧ください。

塗師に教わる拭き漆体験

12/19(日) 10:00~14:00 (正月を除く)
鳴子の間伐材で作ったお箸と箸置きに漆を塗ってみよう! 5日前までにお申し込みください。所要時間2時間程度。詳細はお問合せを。

K くりこま高原自然学校

T 手のひらに太陽の家

M NPO法人 しんりん

R くりこまくんえん

S サステナライフ 森の家

V ウェスタ

B 鳴子温泉もりたびの会

2021 December-
2022 April

f-calender

ふんわり関連イベントカレンダー
詳しい情報は巻末一覧から
各団体HPをご覧ください。



栗駒山ウィンターキャンプ

12/4(火)-6(木) 2泊3日
自然学校の「山の暮らし」と栗駒山の冬のアクティビティを満喫するキャンプです。小学3年生以上対象。冬休みは仲間と栗駒山でチャレンジ!

森のようちえん・小学校

12/12(日), 1/16(日)
毎月1~2回、週末に開催しています。テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほいく!」自然の中で、大人も子どももリラックス♪冬でももちろん、森の中でたっぷり遊びます。



スノーハイク体験会

12/22(土), 23(日)
栗駒山をでっかく遊ぼう! 歩くスキー「スノーハイク」で雪の森をトレッキングします。どこまでも続く雪原、栗駒山のダイナミックな自然を感じられる、冬だけの魅力の世界をご案内します。

うら山メーブルシロップづくりツアー

12/25(土), 26(日) (正月を除く)
うら山の力エデでメーブルシロップを手づくりします。詳しくはお問い合わせ下さい。

豆こけし絵付け

12/26(日) 10:00~16:00 (正月を除く)
自分だけの手のひらサイズの豆こけしを作る体験です。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					

わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。
業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンリーワンで、おもしろいことができそうです。

くりこま高原自然学校
☎ 0228-46-2626
宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1
http://kurikomans.com/
栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、世界谷地湿原など大自然をご案内します。

株式会社 くりこまくんえん KURIKOMAE
☎ 0228-55-3261
宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7
http://www.kurikomakunen.jp/
伐採・製材・チップ・ペレットと一貫した事業を行っている材木屋です。お客様が安心して暮らせる木材を提供しています。

鳴子温泉もりたびの会
大崎町鳴子温泉字沢 74-21
https://moritabi.org
地元旅館や林業家、工芸家など多様な関係者からなる協議会。森林資源を活用した体験プログラムの提供により新しい旅の仕組みづくりを目指します。

NPO法人 しんりん
☎ 0229-25-4668
宮城県大崎町鳴子温泉字宇ノ木 70 番地 エコラの森内
http://shinrin.org/
森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりときごりの育成を実行中。

手のひらに太陽の家
☎ 0220-23-9755
宮城県登米市登米町寺池辺室山 17 番地 1
http://taiyounoie.org/
歴史と自然豊かな町・登米市登米町。地元木材をふんだんに使った心地よい建物で、宿泊・研修・レンタルスペース・子どもの遊び場など、多目的にご利用いただけます。オーガニックカフェも営業中!

ウェスタ
宮城県加美郡加美町字北町三番 44-1
http://woodenergy.co.jp
木質バイオマス燃料の製造、CHP、木質チップボイラーや薪ボイラーの導入、ペレットストーブ販売、熱供給を行っています!!

サステナライフ 森の家
☎ 022-725-2775
宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13
https://www.sustainlife.co.jp/
地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ「サステナブルな暮らし」を提案する住宅会社。

記事執筆・お問合せ...記事最後のアルファベットをご参照下さい

K くりこま高原自然学校
M NPO法人 しんりん
S サステナライフ 森の家
T 手のひらに太陽の家
R くりこまくんえん
V ウェスタ
B 鳴子温泉もりたびの会

ふんわりに広告を載せてみませんか。 詳しくは編集部までお問合せください。

ふんわり 第40号

[宮城版]

[2021年12月10日] 季刊 (年4回発行)

ふんわり編集部

〒981-3225

宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13

☎022-725-2775

funwarinfo@gmail.com

twitter funwari_miyagi

facebook freefunwari

編集長ぼすとすくりぷと

「どこでもない今ここ」をお届け。
ふんわり40号編集部員で話し合いながら、No where Now here (どこでもない今ここ) のサステナブルな暮らしや仕事の記事をお届けします。

Cover Photo

冬こそ、外遊び! いっぱい動けば、心も体もぽかぽかです。

希望の番号・ご応募の方の住所とお名前 (プレゼント送り先) を書いてメール (下のQRコード) か、ハガキでお送りください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいですよ。
【① ふんわりを読んだ感想 (気持ちや気づき、編集部へのメッセージなど) ② プレゼントを選んだ理由・使い道 ③ ふんわりを手に入れた場所】



手のひらに太陽の家
クリアファイルセット
A4・4色8枚セット
【3名様】

森林木香 きこり著
【3名様】



ふんわりと同じ
森林認証紙で作った
10x10x10cmメモ 【3名様】

印刷：コンカツ印刷
岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963

ふんわりズム、ふんわりすと。

ism + ist



千鶴さんの作るお弁当は加美町の野菜を美しく切りばめ、まるで一枚の絵のよう。彼女の歩んできた人生や感性がここに表現されている。



KamiRu
高橋千鶴さん
Takahashi Chizuru

それぞれの場所で輝きながら、スッと立っている人がいます。しかも、ふんわり。そんな人たちに、会いにきました。ふんわりの、巻頭リレー。

千鶴さんは今、栗駒山のふもとを拠点に、キッチンカーであちこちに出向く。加美町の旬の味を詰め込んだお弁当を販売している。「bento」という屋号には、加美の地名はもちろんのこと、「めぐる」「つくる」「たべる」という思いも込められている。

起業して初めて迎える冬。地元で採れる野菜が少なくなる季節だが、温かいスープや、千鶴さんと同時期に漬物製造業の許可を取って起業した母の力も借り、冬向けのお弁当開発もしていきたいと意気込みを語った。



加美の小瀬地区でしか取れない小瀬菜大根の応援隊としても活動し、お弁当を通じて希少な小瀬菜大根の普及にも努めている。

data & information

〒981-4375 加美郡加美町味ヶ袋栗原1番地335

facebook▷kamiru553 Instagram▷kamiru553



加美町にUターンし、地域おこし協力隊を経て、今年の春からキッチンカーで地元食材をふんだんに使ったお弁当を販売している高橋千鶴さん。控えめな笑顔とは裏腹に、熱い思いを秘めて邁進する彼女に接し、思わず手放しで応援したくなるような気持ちになりました。高校進学と同時に地元を離れ、高校・大学と美術を専攻。大学の4年間は油絵を描いていたという千鶴さん。高校時代の仙台での下宿生活中、映画や音楽など、地元では出会えなかった世界に触れ、それがきっかけとなり埼玉でテレビ等の大道具の図面を書く仕事に就き、朝も夜も無いような環境で13年間働いた。千鶴さんの話しぶりから、相手の期待に応えるいい仕事をしてきたことが伝わってくる。仕事にやりがいを感じていたらけれど「やり切った」と深く語る千鶴さん。多忙な生活の中、ばあちゃんの手伝い野菜が送られてくるのが嬉しかったという。とにかく土が恋しく、プランターで野菜を育てたり、野菜ソムリエの資格を取ったりしながら、地元への想いが募っていたのだそう。

高校で親元を離れた千鶴さん。「長い人生の中で、家族と過ごせたのはたったの15年しかなく、その大切に早くから気づくことができた」と語る。仕事が多忙を極めていた頃、東日本大震災が起き、千鶴さんはボランティア休暇を取って炊き出しをおこなない、生きることへ食糧のこととつながっていることを痛感。Uターンして、食や農に関わる仕事をしたいと決意した。

千鶴さんは今、栗駒山のふもとを拠点に、キッチンカーであちこちに出向く。加美町の旬の味を詰め込んだお弁当を販売している。「bento」という屋号には、加美の地名はもちろんのこと、「めぐる」「つくる」「たべる」という思いも込められている。

起業して初めて迎える冬。地元で採れる野菜が少なくなる季節だが、温かいスープや、千鶴さんと同時期に漬物製造業の許可を取って起業した母の力も借り、冬向けのお弁当開発もしていきたいと意気込みを語った。

離れていた時期も今も、心の支えは家族と栗駒山のある風景

山の暮らしの備忘録。

第7回

Think globally, Act locally!!



ねこと一緒に 景色を楽しむ家



住まいの手 インタビュー

和のテイストをちりばめた
外観は、温泉旅館のような
雰囲気。



毎年恒例の冬の暮らしの薪づくりが始まった。くりこま高原自然学校では暖房や給湯のエネルギーに薪を使っている。山の暮らしに欠かせない薪を中心とした森林資源は人の暮らしの中で循環可能な自然エネルギーだ。今朝のニュースで、地球温暖化対策を各国がCO2削減目標を達成できても、悪い予想だと100年後には地球の平均気温が4.2度上がる可能性もあると言っていた。

そうすると東北地方が今の九州くらいの気候になるらしい。この状況は薪を作る苦勞が無くなるという楽観できる状況ではない。地球という一つしかない私たちの家そのものの危機なのである。

地球全体が見渡せるようになった現代、なぜか世界中では戦争や貧困などの問題が絶えない。昔のように未開の地もなく資源は有限であるとわかった今、私たちに必要なことは奪い合うことよりも分け合って平和に暮らすことなのだ。

自分たちの目の利益にとらわれず世界規模で考えて足もとの暮らしの中で持続可能性に取り組もう。今こそThink globally Act locally!!



Instagram



facebook

栗駒山ででっかく遊ぼう！

山の遊び場・キャンプ場・ネイチャーガイド・ものづくり体験・焚き火クッキングなど、山の楽しみを体験いただけます。お子さん連れはもちろん、大人だけのご利用も歓迎いたします。詳しくは、自然学校のSNSへ！



▲リビングから望める大窓越しの風景は圧巻。▼猫ステップが二階へと続くリビング。行き止まりが極力なく、猫が迷わない動線を意識。



3匹の愛猫とのゆったりとした暮らしに想いを馳せながら始まった、仙台市のOさん夫婦の家づくり。温泉好きの夫婦が「家に居ながらにして、旅館に居るような癒やしのある住まい」を求めて巡り合った土地は、住宅街にあるにも関わらず、北西に里山の風景が望める好立地でした。「そんな眺望の良さを生かしながら、健康にも優しい自然素材の家にしたい」と思っていました。」と振り返ります。

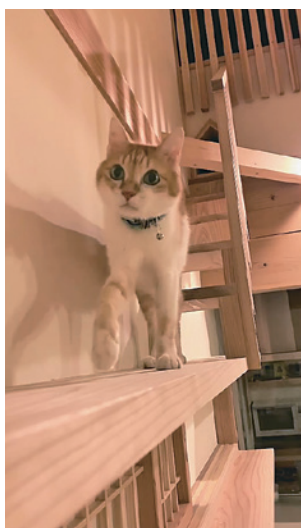
また、「猫と暮らす」も大きなポイント。愛猫が家中回遊できる専用の通路やドア、階段などを設け、猫たちがストレスフリーで暮らせるよう工夫しました。

「朝起きて障子戸を開けて山に見入ったり、美しい夕日に見惚れたり、日常の中に非日常のような感動がある家になりました。」

この家でこれから迎える初めての冬。雪化粧をした山々を楽しむのも、もうすぐです。



▲家の至る所にある「おうち型くぐり戸」。▼猫たちが日向ぼっこできるようにダイニング窓前の台座は奥行きを広く計画しました。



くりこまくんえんの 木の話

自然素材そのものの美しい風合いと、
思わず触りたくなくなる手触り感。



くりこまくんえんではスギやヒノキ・マツ・広葉樹など栗駒山麓で育った木を工場内で製材し、くんえん窯の中、煙でじっくりと燻し、木の耐久性を引き出し、防虫・防腐効果が期待できる温故知新のノウハウをつかった人・環境にやさしい木材を生産しています。

木は建築材として使えるようになるまで50年、60年と長い年月がかかります。光が差し込む手入れのされた山を未来の子供たちへバトンタッチできるように、植林後は下草刈りや枝打ちなど健全な山づくりのための活動を行っています。

こうして長い年月を経て育った木。育った年数以上は家として。さらには「100年、200年住み継いでいただきたい」私たちはこうした活動を通して木に愛情をもって扱っています。

木の家づくりは伐採した木が倒れる音を合図に始まります。伐られた木をいろいろな人の手を介して形を変え、身だしなみを整えながら家の一部となっていく。

山の活性化のためには暮らしの中で木をたくさんつかう事が大切です。これらの木工品も建築用材を生産する際に発生する端材などを利用し、「木らしさ」を生かしながら心に寄り添えるような木製品を作っていました。



▲くりこまくんえんオリジナルコースター。栗駒山に群生するニッコウキスゲと栗原の豊かな自然をイメージしました。

▲地域の羊毛フェルトで作ったハンドメイド雑貨とのコラボ商品。左) 天然木のあたたかみのある質感ときのこと羊毛フェルトのやさしさを感じるペンスタンド。右) 樹種によって風合いも変わる天然木を使ったクリップボード。

手のひらに 太陽の家

tenohira-press | 通信 |

「交ゆう館かなみ」 登米に新しい木造りの 家がオープン！

家も人も生きる力をいただきます。
登米杉が敷かれた床に「米」の文字がデザインされたかわいらしい椅子が置かれるカフェ。

ゆったり人を受け入れる
カフェスペース。交流の
メインステージに
なります。



思わず楽しくなってしまう色とりどりの棚。
思わす楽しくなってしまう色とりどりの棚。

手のひらに太陽の家がある登米市登米町。「おかえりモネ」の舞台としても知られたこの町は、青々と生い茂る森林と北上川の豊かな水に育まれた町です。この町にまた温かい木造りの家が増えました。「交ゆう館かなみ」。施設の母体は、特定非営利活動法人奏海の杜さんです。東日本大震災後から「障害があってもなくても地域を奏でる人になる」を合言葉に誰もが自分らしく暮らせることを目指して活動してこられました。

奏海の杜さんがここに拠点を置いたのは、人が行き交う町が近く、町に出ていきやすく、来ていただきやすい場所だったからだそうです。大きな窓から太陽の光がサンサンと入り込むカフェで丁寧に淹れていたいただいたコーヒーを飲みながら、ホッと一息。大きな本箱には興味深い本やコラボ商品、手作り品が並んでいます。現在、月一度のペースで子どもでもやさしく社会を学べる勉強会「学びと遊び」を開催しています。カフェを地域の方に利用していただく準備も進行中。ご興味あるかたはぜひ、ご連絡してみてください。



カフェでは、おちゃめな店長が、心を込めてコーヒーを淹れてくれます。

NPO法人 奏海の杜

TEL 0220-44-4171 (平日 9:00~18:00)
E-mail info@kanaminomori.org

facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト

検索



くりこま高原自然学校
☎0228-46-2626
宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中57-1
http://kurikomans.com/



株式会社 くりこまくんえん
☎0228-55-3261
宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7
http://www.kurikomakunen.jp/



NPO法人 しんりん
☎0229-25-4668
宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木70番地エコーの森内
http://shinrin.org/



手のひらに太陽の家
☎0220-23-9755
宮城県登米市登米町寺池辺室山17番地1
http://taiyounoie.org/



サステナライフ 森の家
☎022-725-2775
宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13
https://www.sustainablelife.co.jp/

ウェスタ
宮城県加美郡加美町字北町三番44-1
http://woodenergy.co.jp



鳴子温泉もりたびの会
宮城県大崎市鳴子温泉字沢74-21
https://moritabi.org